

8月は人権を大切にする「人権強調月間」

人にいちばん近いまちづくり

第59回人権を考える市民のつどい

平和をつなぐ、 いのちをつなぐ

～戦争、被災、看取りの現場から～



入場無料・申込不要
(定員350人)

日時

2025年8月27日(水)
午後6時30分～8時30分
(開場は午後6時から)

場所

ハピネスふくちやま
市民ホール (4階)
※福知山市役所 となり

講師

くにもり やすひろ

國森 康弘 さん (写真家、ジャーナリスト)

京都大学大学院経済学研究科修士号、英・カーディフ大学ジャーナリズム学部修士号。
新聞記者を経てイラク戦争を機に独立。紛争地や経済困窮地域を回り、国内では戦争体験者や野宿労働者、東日本大震災被災者を取材。命の有限性と継承性をテーマとする。看取り、在宅医療、地域包括ケアの撮影にも注力し、活動を続けている。

今年で戦後・被爆から80年を迎える中、軍事侵攻や紛争など平和や人権が脅かされる状況が今なお世界各国で続いています。戦争は最大の人権侵害です。今ある暮らしや大切な人を守るために、私たち一人ひとりが日々の中で平和や人権の話題を身近に感じ、出来ることを見つけ、次の行動に繋げていけるよう、一緒に学びませんか。

午後6時30分～	第1部	「沖縄人権文化体験研修」「長崎平和学習の旅」参加者の成果発表
午後7時～	第2部	國森康弘さんによる 写真から学ぶ人権講演会
午後6時～午後8時30分	平和と人権パネル展 (会場ロビーにて実施)	

保育ルーム・手話通訳・要約筆記・磁気ループを準備します。

主催／人にいちばん近いまちづくり福知山市実行委員会、福知山市、福知山市教育委員会
後援／福知山市市民憲章推進協議会

問合せ先：福知山市市民生活部人権推進室 TEL 0773-24-7021 FAX 0773-23-6537